『地方教育史研究』バックナンバー （2026/11/20現在）

号	発刊年	残部	特集・研究論文	備考（所収県）
1	1980	無	○大正・昭和初期新教育運動の研究（志村廣明）	
2	1981	少	①研究論文 ○明治初期・石川県の学校設置問題－「興学六弊」とその「疑問」をめぐって－（神辺靖光）、○学制期島根県の巡回教師に関する一考察（笹森健） ②府県教育史関係資料の紹介　静岡県（四方一瀰） ③資料　学校沿革誌目録「小学校」東京都その2　埼玉県その2	石川県・島根県・静岡県・埼玉県・東京都
3	1982	無	○沖縄における「廃藩置県」前後の教育－首里中学校教育を中心として－（安里彦紀）、○明治前期「教育会議」研究序論－「文部省年報」を手がかりに－（片桐芳雄）、○占領期における新教育展開の実態－愛知県実験学校協議会を中心にして－（酒井宏明）	
4	1983	無	○鹿児島県中等教育史研究序論--女子教育を中心として（二見剛史）	
5	1984	有	①研究論文 ○近世藩校の財政状況について（高木靖文）、○教育の階層構造と寺子屋の発展－筑後国生葉郡・竹野郡を中心として－（木村政伸）、○子守学校の研究（一）－開設の背景と目的－（長田三男）、○神奈川県の女学校－明治期、公立高等女学校の設立過程－（福田須美子） ②府県教育史関係資料の紹介 「宮城県教育百年史」（全四巻）（千葉昌弘）	福岡県・神奈川県・全国・宮城県
6	1985	有	①研究論文 ○明治期北海道に於ける初等教育の編成（谷内鴻）、○東京府下における明治初期庶民教育と公立小学校の成立過程－南葛飾郡江戸川区域を例にして－（山田真佐男）、○明治後半期の就学督励と学齢児童統計－関西三府県を素材に－（三原芳一）、○戦前都市生活教育論の実践構造の分析－社会科実践史としての視点から－（坂井俊樹） ②府県教育史関係文献の紹介 ○「大分県教育百年史」（全四巻）と大分県の教育史（鹿毛基生）○「愛知県教育史」（資料編近世一・二巻）（関山邦宏）○「三笠教育史」（上下二巻）（新谷恭明）	北海道・東京都・大阪府・奈良県・兵庫県・神奈川県・大分県・愛知県・北海道
7	1986	少	○明治期教科書疑獄事件－千葉県の一局面から－（三浦茂一）、○明治期小学校への「御真影」の下賜侵透過程（小林輝行）、○郡山の子守学校（長田三男）	千葉県・福島県・全国
8	1987	少	①地方別過去十年間の地方教育史研究の動向 ○「北海道教育史研究十年」-歩みと提言-（谷内鴻）、○東北地方教育史の素描（田島昇）、○ここ十年の地方教育史研究の動向-関東地方について-（神辺靖光）、○北陸地方における教育史研究の動向（高木靖文）、○東海地方を対象とする地方教育史の研究動向（井上和則）、○近畿地方（竹下喜久男）、○中国地方における地方教育史研究の動向（大林正昭）、○四国地方における教育史研究の動向（千葉昌弘）、○九州地方（ここ十年の地方教育史研究の動向）（二見剛史）、○沖縄地方におけるここ十年間の「地方教育史」研究の動向（安里彦紀） ②研究論文 ○初期秋田藩校の運営構想－「学館記」の成立とその意義－（加藤民夫）、○明治期実業教育機関への「御真影」の下賜侵透過程（小林輝行）、○新発田藩校の発達型態について（高木靖文）、○茨城県における「特別学級」の成立過程（清水寛・船橋秀彦）	秋田県・新潟県・茨城県・全国
9	1988	有	①研究論文 ○試験と明治期小学校（山本信良）、○伊奈森太郎の郷土教育とその思想（一）（別所興一）、○大正後期から昭和初期における「特別学級」の成立と展開－和歌山県南部小学校の「能力別学級」劣組の事例から－（戸崎敬子） ②地方教育史関係文献紹介 ○随評二点（『奈良教育大学写真年表』『同資料集』『下伊那教育会史』）（上沼八郎）、○宮川秀一編『伊丹教育資料―明治前期川辺郡教育関係史料―』（竹下喜久男）	愛知県・和歌山県・全国・奈良県・兵庫県

10	1989	有	①研究論文 〇教育令期における愛知県の町村立中学校－郡内全町村立宝飯中学校について－（神辺靖光）、〇日清戦争期における戦時教育の展開に関する一考察－愛知県刈谷尋常小学校校務日誌の分析を通して－（吉川卓治） ②地方教育史関係文献紹介 〇福岡の教育史・二点の紹介（『江戸時代人づくり風土記　福岡』『修猷館二百年史』）（新谷恭明）、〇『山形県教育資料　統計編』について（八鍬友広）、〇『石川県資料』近代編（8）～（14）（内田糺）、〇『佐賀新聞に見る佐賀近代史年表　明治編上』（生馬寛信）	愛知県・福岡県・山形県・石川県・佐賀県
11	1990	有	①研究論文 〇明治初期福井県における教育とお雇い教師－E.H.マゼットとM.N.ワイコフを中心に－（蔵原三雪）、〇明治中期地方新聞の教育論調－佐賀新聞社説にみる－（生馬寛信）、〇兵庫県における二部教授に関する考察－明治後期から大正期を中心として－（藤本彰教）、〇北海道の「洋風」学校建築（谷内鴻） ②資料施設紹介 〇沼津市明治史料館（樋口雄彦）	福井県・佐賀県・兵庫県・北海道・静岡県
12	1991	有	①研究論文 〇明治十年代兵庫県における中学校設立をめぐる諸問題（宮川秀一）、〇明治前期における小学校教育の資格について－兵庫県の小学校教育の資格を中心に－（谷口育史）、〇戦後初期、茨城県におけるコア・カリキュラム実践小学校の特殊学級－茨城県猿島郡静小学校の「仲よし」学級の成立過程－（船橋秀彦）、〇新聞に見る子どもの遊びの地域比較（景山雄二） ②内田糺幹事のご逝去を悼む（会長石川松太郎）、内田糺先生を偲んで（湯川次義）	兵庫県・茨城県・全国
13	1992	有	①研究論文 〇『日本教育史資料』収載八戸藩学制関係記録についての検討－『旧八戸藩学制沿革取調要目稿』との比較考量を中心に－（石川松太郎）、〇「小学校史」の図版について－関東地方を中心として－（山本信良） ②『奈良教育大学史』編纂の経緯について（上沼八郎）	青森県・関東地方
14	1993	有	①研究論文 〇明治期民間育英奨学事業の一断面－旧藩系主体の団体をめぐって－（菅原亮芳）、〇秋田県における郷土教育運動の展開（黒沢正尚） ②地方教育史関係文献紹介 〇『高知県師範教育の歴史』について（千葉昌弘）、〇『神奈川県の寺子屋地図』（高田稔）、〇『明治前期の学事と兵事について』（宮川秀一）	全国・秋田県・高知県・神奈川県
15	1994	有	〇近世往来物で扱われた年中行事と地域差－消息型往来を中心に－（天野晴子）、〇佐賀藩弘道館と多久東原庠舎－草場珮川の弘道館登用問題を中心とした一考察－（生馬寛信）、〇近代学校成立過程において在村医が果たした役割について－松江藩神門郡松枝村増原家一族の学問修業と行事を通して－（梶谷光弘）、〇鹿児島藩・県及び都城県における郷校の展開と推移（井原政純）	全国・佐賀県・島根県・鹿児島県
16	1995	有	①研究論文 〇島津奨学資金による育英事業の成立と展開－造士館との関連を中心として－（中川言美）、〇薩摩藩の実学思想と森有礼（上沼八郎） ②書評 〇『地域社会と学校統廃合』（境野健児・清水修二共著）（神辺靖光）、〇『近代日本の学校と地域社会』（土方苑子著）（上沼八郎）	鹿児島県・福島県・長野県
17	1996	有	①研究論文 〇江戸の寺子屋における学習過程について（菱田隆昭）、〇世田谷における郷学所の設立基盤・要因に関する一考察－幼学舎と太子堂郷学所を中心に－（井原政純）、〇学芸会の教育目的の二重性とその矛盾－普及・定着期における愛知県を事例として－（内田純一） ②資料紹介・書評 〇『播州龍野藩儒家日記』上・下（竹下喜久男）、〇『子守学校の実証的研究』（長田三男著）（二見剛史）	東京都・愛知県・兵庫県

18	1997	有	①研究論文 〇一八八〇年代における小学校の設立と社会的意識の変容－静岡県駿東郡御宿村ほか七か村を事例として－（坂本紀子）、〇岐阜県下地方教育会の研究－安八郡教育会の発足状況－（梶山雅史）、〇北方教育社同人の実践と教育観（二）－秋田県由利郡同人の弾圧下における相克について－（小田嶋悟）、〇占領下岡山県の教育政策課題に果たした岡山県軍政部の役割（大矢一人） ②研究提言 〇子守学校と地方教育史研究（長田三男）、〇地方教育史研究の現状と課題（入江宏）	静岡県・岐阜県・秋田県・岡山県
19	1998	有	①研究論文 〇福井藩にみる「文武学校」の展開過程－明新館時代を中心として－（熊澤恵里子）、〇明治一〇年代末における試業制度と運動会の成立－石川県における奨学会と運動会の検討から－（大久保英哲）、〇福沢諭吉門下本多和一郎と共修学舎－和歌山県打田町の「本多和一郎関係文書」に関する若干の考察－（曽野洋）、〇私立慈善「福田小学校」設立の意義－当初の就学状況を主として－（戸田金一） ②研究提言 〇『資料が語る明治の高等小学校-岡山県勝南郡高等勝南小学校を中心に-』出版余談（中村勝男）、〇中学校形成史と地方教育史の研究（神辺靖光）	福井県・石川県・和歌山県・秋田県・岡山県
20	1999	無	〇学習者からみた八代伝習の性格(卜部朋), 〇江戸・東京赤坂における寺子屋・家塾・市立小学校の系譜(藤田薫), 〇明治中期・中学校増設問題とその背景--大分県を事例として--(永添祥多), 〇明治後期におけるピアノ教育の地方普及についての研究(市川理恵)	熊本県・東京都・大分県
21	2000	有	①研究論文 〇一八九一（明治二四）年「中学校令中改正」後の府県管理学校の性格に関する一考察－山形県庄内尋常中学校を事例として－（荒井明夫）、〇埼玉県入間郡における豊岡大学の創設過程－地域的背景との関わりを中心に－（渡辺典子） ②史料・文献紹介 〇『北鳴学校紀事』について（神辺靖光）、〇『彦根東高百二十年史』の内容と編纂経緯（三原芳一）、〇『岸和田高等学校の第一世紀』編纂記（横山篤夫）	山形県・埼玉県・北海道・滋賀県・和歌山県
22	2001	有	①研究論文 〇小学校補助教員の研究－第二次小学校令期、府県により定められた小学校教員講習科規程の検討－（遠藤健治） ②書評 〇井原政純著『わが国における近代小学校の成立過程—鹿児島県の郷校・小学校の研究—』（入江宏）、〇花井信著『製糸女工の教育史』（片桐芳雄）、〇齊藤勉著『東京都学徒勤労動員の研究』（神辺靖光） ③文献紹介 〇『会津高等学校百年史』編纂の思い出（畑敬之助）、〇『所沢高校百周年記念誌』（間々田和夫）	全国・鹿児島県・長野県・東京都・福島県・埼玉県
23	2002	有	①研究論文 〇弘前藩学稽古館算術科の教育（佐藤環）、〇岩手県における小学簡易科の研究－民衆の教育要求との関わりから－（軽部勝一郎）、〇長野県下の学校火災と「御真影」焼失事件（小林輝行） ②資料紹介 〇鯖江藩校の「試験史料」について（竹内信夫） ③小特集　高等中学校研究に関する地方教育史的アプローチ 〇第三高等中学校における「無試験入学制度」（西山伸）、〇第四高等中学校について（谷本宗生）、〇山口高等中学校の性格と歴史的役割（荒井明夫）	青森県・岩手県・長野県・福井県・京都府・石川県・山口県

24	2003	有	①研究論文 〇明治期の詩社淡水吟社に関する考察（山本さき）、〇長野県の小学校における進級システムー松本尋常高等小学校の進級認否判定を通じてー（重栖啓子）、〇敗戦直後の広島県における中井正一を中心にした文化・教育活動ー地域における受容と展開およびその意義に着目してー（山嵜雅子） ②書評 〇八鍬友広著『近世民衆の教育と政治参加』（木村政伸）、〇梅村佳代著『近世民衆の手習いと往来物』（天野晴子） ③小特集　地域と寺子屋 〇大阪とその周辺（竹下喜久男）、〇寺子屋研究の到達点と地域（梅村佳代）、〇地域としての「都市」と手習塾（八鍬友広）	兵庫県・長野県・広島県・大阪府・全国
25	2004	少	①研究論文 〇江戸期上層農民の読書に見る「家」永続意識ー甲斐国依田家「依田家訓身持鑑」と飛騨国二木家「家訓全」の分析より（松尾由希子）、〇飽田仁恵学校の沿革について（戸田金一）、〇東京教育会の活動実態ー東京府学務課・府師範学校との関係ー（白石崇人）、〇大正末期の「実習日誌」にみられる大分県女子師範学校附属小学校の教育研究（松本裕司） ②書評 〇高野俊著『明治初期女児小学の研究』（森岡伸枝） ③小特集　国立大学教育学部創設の地域的意義 〇名古屋大学教育学部創設の地域的意義（吉川卓治）、〇金沢大学教育学部の設立過程（大久保英哲）、〇県域新制大学の成立と教員養成の機能（山田昇）	山梨県・岐阜県・秋田県・東京都・大分県・愛知県・石川県
26	2005	有	①研究論文 〇幕末佐賀藩の学校改革と「文武課業法」制定（生馬寛信）、〇学制期における小学校教員の等級とその異動ー宮崎県を事例にー（関儀久）、〇明治末期福岡県公立小学校における自学主義教育の実際（深谷圭助）、〇都市部工業地帯における新教育実践の展開ー田島小学校の体験教育を事例としてー（金子知恵） ②図書紹介 〇藤沢市教育史編さん家庭とその特色および今後の課題（長田三男） ③シンポジウム内容とコメント 〇藩政改革と藩校-幕末維新期における藩校教育の展開-（佐藤環）、〇幕末維新期の福井藩政改革と藩校-地方教育史研究の視点から（熊澤恵理子）、〇シンポジウムから考えたこと（三澤純）	佐賀県・宮崎県・福岡県・神奈川県・全国
27	2006	有	①研究論文 〇昭和戦前期農村小学校教師による郷土教育の展開ー秋田県由利郡西目村を事例としてー（板橋孝幸） ②資料紹介 〇『群馬県庶民教育（寺子屋）調査報告書』について（柳井久雄） ③書評 〇四方一瀰著『「中学校教則大綱」の基礎的研究』（新谷恭明）、〇三上敦史著『近代日本の夜間中学』（吉野剛弘） ④図書紹介 〇花井信三上和夫編『学校と学区の地域教育史』（坂本紀子）、〇『岐阜県教育史』別編二（調査・統計資料）梶山雅史 ⑤小特集　新制中学校の開設と地域社会 〇新制中学校の開設と都市域-大阪市における準備過程を通して-（赤塚康雄）、〇新制中学校の設立と軍政部-岡山県を事例として-（大矢一人）、〇新制中学校の開設と地域社会-山形県最上郡舟形中学校の事例から-（庄司他人男）、〇地域社会と六・三・三制-その理論的諸問題-（三羽光彦）	秋田県・群馬県・全国・長野県・大阪市・岡山県・山形県

28	2007	少	①研究論文 〇寺子屋(手習塾)における手習い学習指導法について－江戸の寺子屋を中心として－(関山邦宏)、〇佐賀藩「文武課業法」における課業達成状況－藩士名簿『早引』による－(生馬寛信)、〇奥州平田門人早田伝之助の教育活動－心学から平田国学へ－(熊澤恵里子)、〇埼玉県師範学校の修学旅行に関する一考察－明治十七年から二十六年までの史的変遷を中心に－(浜野兼一)、〇長野県下伊那郡における小学校女性教員の職業と家庭の両立問題(齋藤慶子)、〇戦間期における高等工業学校の地域産業界に果たした役割－広島高等工業学校の事例－(酒井真) ②書評 〇神辺康光『明治前期中学校形成史-府県別編Ⅰ―』(米田俊彦) ③図書紹介 〇『昌平坂学問所日記』Ⅰ～Ⅲ(橋本明彦) ④小特集　附属学校の歴史的意義 〇教員養成系附属学校の歴史的意義-広島大学附属中・高等学校を中心として-(小山清)、〇わが国附属学校園の歴史的性格(船寄俊雄)、〇教員養成系附属学校の詩的意義(冨士原紀絵)	東京都・佐賀県・福島県・埼玉県・長野県・広島県
29	2008	有	①研究論文 〇東京師範学校と西周－校務嘱託としての位置－(奥野武志)、〇村落社会の二重構造と町村学事－高知県安芸郡川北村の事例－(河田敦子)、〇函館商業学校と地域商業の近代化(坂本紀子)、〇大正末期東京市における「身体虚弱児童」の実状とその教育に関する一考察(野口穂高)、〇千葉県学務当局の「自由教育」に対する「支持」と「統制」－一九二〇年代前半における地方教育行政の基盤の分析を通じて－(山田恵吾) ②書評 〇熊澤恵理子著『幕末維新期における教育の近代化に関する研究』(生馬寛信) 〇小特集　地域産業と実業教育の近代 〇実業学校の社会的昨日と卒業生の職業経歴(井澤直也)、〇明治期における伝統的地場産業と実業教育機関の関係(内田純一) ③その他 〇『地方教育史研究』総目次、〇研究発表論題一覧、〇史料見学会一覧	東京都、高知県、北海道、千葉県
30	2009	有	①研究論文 〇弘前藩の武芸教育－弓術を中心に－(佐藤環)、〇明治初期新潟県における一斉教授法の受容過程－「教場指令法」を中心に－(杉村美佳)、〇広島県における高等中学校設立計画と中学校改革の実施(小宮山道夫)、〇明治二〇年代秋田県における小学校教員検定に関する研究(釜田史)、〇大正末期における師範学校附属小学校の研究活動－大分県師範学校附属小学校を中心にして－(松本裕司) ②書評 〇須田将司著『昭和前期地域教育の再編と教員』(山田恵吾) ③図書紹介 〇「近代日本黎明期におえる『就学告諭』の研究」の紹介(荒井明夫) ④学術講演要旨 〇水戸藩校弘道館と私塾の教育-「地方からの発信」の一事例として-(鈴木暎一)	青森県、新潟県、広島県、秋田県、大分県、茨城県

31	2010	有	①追悼 〇石川松太郎先生のご逝去を悼む（関山邦宏）、〇石川松太郎先生を悼む（神辺康光） ②研究論文 〇大津裁縫塾における門人形成のネットワーク－一八八四年から一九二一年を対象に－（山下廉太郎）、〇飛田遊郭設置反対運動と「性教育」をめぐる議論－一九一〇年代の男性セクシュアリティの側面から－、〇戦後教育改革期の「教育指導者講習会」についての一考察－東京地区開催の幼年教育を中心に－（大岡紀理子） ③書評 〇戸田金一著『明治初期の福祉と教育-慈善学校の歴史-』（軽部勝一郎） ④図書紹介 〇『沼津市史』編纂概況（四方一瀰） ⑤小特集　内と外から見える北海道教育の特徴 〇箱館英学に起因する教育機関の系譜-函館開港一五〇周年に憶う—（井上能孝）、〇大正期における露領漁業への人材供給-傍系の「学校」に注目して-（佐々木貴文） ⑥回顧 〇地方教育史学会創立前後の事情について（千葉昌弘）	愛知県、大阪府、東京都
32	2011	有	①研究論文 〇明治維新期の郷学に関する一考察－小千谷学校を事例として－（八鍬友広）、〇学制を迎えた農村の漢学師匠－新潟県長善館館主鈴木惕軒を事例として－（池田雅則）、〇札幌農学校の初期軍事教育に関する一考察（奥野武志）、〇戦後復興期における新制中学校独立校舎建設に伴うコミュニティ・ファイナンスの研究－埼玉県南埼玉郡八幡村立八幡中学校の事例から－（古川和人） ②図書紹介 〇『近代教育の展開と地域社会』（四方一瀰） ③回顧 〇地方教育史研究会創設の思い出（笹森健）	新潟県、北海道、埼玉県
33	2012	有	①研究論文 〇明治維新期度会府（県）における学校の設立と廃止（杉浦由香里）、〇教育令期における九州各県聯合教育会の開催とその意義（湯川嘉津美）、〇奈良県桜井尋常高等小学校における特別学級と新教育（阪本美江）、〇愛知第二師範学校附属小学校の教育課程の変遷－生活教育の成立と展開を中心として－（酒井宏明）、〇昭和戦前期における福沢小学校・国民学校の報徳教育－「生活即教育」の展開－（須田将司）、〇アジア太平洋戦争下における府県教育会機関誌の「休刊」と敗戦直後におけるその「復刊」（近藤健一郎） ②書評 〇荒井明夫著『明治国家と地域教育-府県管理中学校の研究—』（三木一司）、〇山田恵吾著『近代日本教員統制の展開-地方学務当局と小学校教員社会の関係史-』（白石崇人） ③図書紹介 〇神辺靖光著『明治の教育史を散策する』（蔵原三雪） ④シンポジウム要旨 〇明治期津軽地方の教育と東奥義塾-慶應義塾の影響を問い直す視点として-（北原かな子）、〇徳川茂承と福沢諭吉のコラボレーション（曽野洋）、〇慶應義塾と地方教育-遠江・三河を事例として-（石井寿美世）	全国、九州、奈良県、神奈川県

34	2013	少	①研究論文 〇福岡博物館の開設と廃止（高田麻美）、〇岡山市内山下尋常高等小学校における低学年教育の展開－進学有名校の新教育実践－（鈴木和正）、〇一九三〇年代における報徳教育実践の創出－神奈川県・富山県における模索の諸相－（須田将司） ②書評 〇河田敦子著『近代日本地方教育行政制度の形成過程-教育制度と地方制度の構造的連関-』（吉田昌弘）、〇吉川卓治著『公立大学の誕生-近代日本の大学と地域-』（西山伸） ③小特集Ⅰ　福岡県における地域と大学の歴史 〇九州工業大学の歴史-私立明治専門学校を中心に-（加治淳一）、〇地域の特性からみた私立福岡大学の設立事情（勝山吉章）、〇福岡における地域と大学の歴史-第三十三回大会シンポジウムのコメントに代えて-（折田悦郎） ④小特集Ⅱ　明治期、地域の学校・文化・産業と華族 〇越前松平康荘の英国留学と試農場の創設（熊澤恵理子）、〇育英組織の設立をめぐる郡と旧藩-橘蔭会を事例に―（内山一幸）、〇明治期佐倉における旧藩主堀田家の活動-教育・産業分野を中心に-（藤方博之）	福岡県、岡山県、神奈川県、富山県、千葉県
35	2014	有	①研究論文 〇米国メソジスト監督教会女性海外伝道協会立による東京市域の貧民学校に関する研究－浅草美以美小学校を中心として－（佐々木竜太） ②書評 〇神辺靖光著『明治前期中学校形成史　府県別編Ⅱ　環瀬戸内海』（佐藤環）、〇釜田史著『秋田県小学校教員養成史研究序説―小学校教員検定試験制度を中心に―』（白石崇人）、〇奥野武志著『兵式体操成立史の研究』（大久保英哲） ③図書紹介 〇佐賀近代史研究会編『佐賀新聞に見る佐賀近代史年表　明治編下』（湯川次義） ④小特集 〇近代における信州上田の学校教育の萌芽（浜野兼一）、〇梅花幼稚園と上田保姆伝習所（菱田隆昭）、〇上田の養蚕教育・養蚕学校（大橋敦夫）、〇山本鼎から学ぶこと-自由画教育運動と現在の美術教育-（岡田匡史）	東京都、佐賀県、長野県
36	2015	有	①研究論文 〇近代北海道における野幌移住民の小学校設立過程（坂本紀子）、〇四年制義務教育制度成立時の岡山県における私設小学校教員養成所－私立学校による小学校教員養成事業のはじまり－（遠藤健治）、〇静岡県駿東郡における地域文集『児童文苑』に関する一考察－その背景としての教科研究会の活動に着目して（杉山実加） ②書評 〇池田雅則著『私塾の近代-越後・長善館と民の近代教育の原風景-』（佐藤環）、〇齋藤慶子著『「女教員」と「母性」-近代日本における〈職業と家庭の両立〉問題－』（井上惠美子） ③図書紹介 〇藤沢市教育文化センター編『藤沢市教育史読本　わたしたちの藤沢教育史－江戸時代末から昭和の終わりまで－』（菱田隆昭） ④小特集 〇地方公文書所蔵資料から見た地方教育史研究の課題（湯川次義）、〇東京都公文書館の所蔵史料について（加藤夕佳）、〇『藤沢市教育史』編集に携わって（永野勝康）、〇地方教育史研究の今日的意義－和歌山県教育史編纂プロジェクトをふまえて－（曽野洋）	北海道、岡山県、静岡県、新潟県、神奈川県、東京都、和歌山県

37	2016	有	①研究論文 〇戦後六・三制発足期における新制中学校校舎建設に伴うコミュニティ・ファイナンスの研究―静岡県町村教育費における財源としての寄附に焦点づけて（古川和人） ②書評 〇高橋裕子著『明治期地域学校衛生史研究―中津川興風学校の学校衛生活動―』（三羽光彦） ③図書紹介 〇大戸安弘・八鍬友広編『識字と学びの社会史―日本におけるリテラシーの諸相―』（木村政伸）、〇神辺康光編『明治前期中学校形成史 府県別編Ⅲ　東日本』（吉野剛弘）、〇佐藤環著『茨城県女学校のあゆみ―茨城県における女子中等学校の歴史的変遷―』（佐藤環）、〇新修彦根市史編さん委員会編『新修　彦根市史　第四巻　通史編　現代』（三羽光彦） ④講演要旨 〇罹災した史跡水戸藩校弘道館の修復過程について（鈴木暎一）	静岡県、岐阜県、茨城県、滋賀県
38	2017	有	①研究論文 〇札幌農学校兵学科に関する一考察-屯田兵制と札幌農学校（奥野武志）、〇日向国での英語教育の広がりと明治初期初等教育機関における再編（田畑きよみ）、〇文部大臣管理鹿児島高等中学造士館の地域性に関する一考察（荒井明夫）、〇明治末期における山口県公立小学校の自学主義教育―山口県教育会雑誌の分析を中心に―（鈴木和正）、〇岡山県私設小学校教員養成所への入学者層と卒業後の進路―戦前、私立学校による小学校教員養成事業が果たした女子小学校卒業生への学習機会の提供というもう一つの役割―（遠藤健治）、〇大正末期から昭和初期の東京市における児童保護事業―「牛乳配給事業」を中心に―（野口穂高）、〇「茨城県教育綱領」制定経緯の実相―不敬事件との関連をめぐって―（国谷直己） ②書評 〇川村肇・荒井明夫編『就学告諭と近代教育の形成　勧奨の論理と学校創設』（柏木敦） ③図書紹介 〇野間教育研究所学校沿革誌研究部会『学校沿革史の研究　大学編2 大学類型別比較分析』（湯川次義）、〇名古屋教育史編集委員会編『名古屋教育史』全三巻（吉川卓治） ④小特集 〇自治体史・自治体教育史編さん事業と教育史研究者（須田将司）	北海道、宮崎県、山口県、岡山県、東京都、茨城県、愛知県など
39	2018	有	①研究論文 〇「学制」期の小学校教員の辞職にみる教職観―長崎県教員の履歴史料の分析―（松尾由紀子）、〇明治期の日本女子大学卒業生による「大学拡張」運動（渡辺典子）、〇岡山県師範学校生徒の思想傾向に関する一考察―一九一九年実施調査の分析を中心に―（長谷川鷹士） ②書評 〇谷本宗生著『学都金沢形成の様相-近代日本官立高等教育機関の設置課程-』（小宮山道夫）	長崎県、全国、岡山県、石川県
40	2019	有	①研究論文 〇東京府における手工科の現職教育の展開―「手工科講義」に着目して―（高田麻美）、〇戦前京都府において、私立学校卒業生は、小学校教員無試験検定合格者にどれほどの地位を占めたのか―一九三〇年代以降を中心として―（遠藤健治） ②書評 〇梶山雅史編『近・現代日本教育会史研究」（吉川卓治） ③図書紹介 〇中央教化団体連合会『教化運動【復刻版】」全6巻・別冊1（須田将司）、〇滋賀県教育史研究会編『近代滋賀の教育人物史」（板橋孝幸） ④小特集 〇教育史における個別史と全体史（吉川卓治） ⑤全国地方教育史学会紀要『地方教育史研究』総目次Ⅱ ⑥研究発表論題一覧Ⅱ ⑦シンポジウム一覧Ⅱ ⑧資料見学会一覧Ⅱ	東京都、京都府、全国、滋賀県

41	2020	有	①研究論文 〇一八七九年教育令のもとで学務委員に就任した民権運動活動家をめぐって―岩手県の事例―（谷雅泰）、〇奈良県女子師範学校附属小学校における児童受入方式の展開（林喜子）、〇一九三〇年代の埼玉県における「新興報徳運動」と報徳教育―同時代の先行・並行事例との比較を通して―（須田将司）、〇東京都における私立学校の学童集団疎開―その実施過程を中心として―（柄越祥子） ②書評 〇吉野剛弘著『近代日本における「受験」の成立-「資格」から「選抜」試験へ-』（菅原亮芳） ③図書紹介 〇神辺靖光『女学校の誕生　女子教育史散策　明治前期編』（佐藤環）、〇梶山雅史編『近代日本教育会史研究【新装版】』（白石崇人） ④小特集 〇第四十二回大会シンポジウム報告	岩手県、奈良県、埼玉県、東京都、全国
42	2021	有	①研究論文 〇開拓使函館支庁・函館圏における学校経費確保策の展開（井上高聡）、〇旧学制下静岡県における准教員養成と臨時教員試験検定実施過程（丸山剛史） ②書評 〇板橋孝幸著『近代日本郷土教育実践史研究―農村小学校教員による地域社会づくり構想の展開―』（三羽光彦）、〇地方史研究協議会編『学校資料の未来』（小宮山道夫）	北海道、静岡県
43	2022	有	①研究論文 〇加能越三州の学生寄宿舎「久徴館」およびその同窓会組織に関する考察（小宮山道夫）、〇明治後期新潟県における中学校の地域代表性の獲得―連合運動会をめぐる言説の検討を通して―（木村政伸） ②書評 〇増山均編著『鈴木道太研究-教育・福祉・文化を架橋した先駆者-』（森田智幸）、〇須田将司著『昭和前期の報徳運動と報徳教育-「長所美点」をめぐる「対話」の教育史-』（山田恵吾）、〇知本康悟著『村に立つ教育-佐渡の僻村が挑んだ「村を育てる学びの共同体』の創造-』（白石崇人） ③図書紹介 〇神辺康光・長本裕子著『花ひらく女学校　女子教育史散策　明治後期編』（齋藤慶子） ④小特集 〇高等・専門教育機関と地域社会（吉野剛弘）、〇札幌農学校の官員養成と北海道（井上高聡）、〇明治期における専門・高等教育機関設置地としての岡山-地域利益の段階的変容-（田中智子）、〇全国地方教育史学会第四十四回大会シンポジウム「高等・専門教育機関と地域社会」コメント（吉川卓治）	石川県・新潟県・北海道・岡山県
44	2023	少	①研究論文 〇私立尋常大村中学校の設立と正確に関する一考察（荒井明夫） ②書評 〇神辺靖光・米田俊彦編『明治前期中学校形成史　府県別編Ⅴ　南畿南海』（富士原雅弘）、〇新修豊田市史編さん委員会編『新修豊田市史』通史編近代（吉川卓治）、〇福島県『原町市史』通史編2近代・現代／『相馬市史』通史編3近代・現代（須田将司）、木村政伸編『教室の灯は希望の灯　自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年』（木村政伸） ③小特集 〇都市の教育問題（吉野剛弘） ④第四十五回大会記（三上敦史） ⑤全国幹事による「地方の状況報告」① 第1回北海道地方の状況（大矢一人）、第2回東京都（新宿区及び豊島区）の状況（野口穂高）、第3回愛知県三河地方の状況（久保田英助） ⑥特別寄稿 「コロナ禍における学会事務局の運営-全国地方教育史学会大会の現地開催復活まで-」（三上敦史）	長崎県・大阪府・奈良県・和歌山県・徳島県・高知県・愛知県・福島県・福岡県

45	2024	有	①研究論文 〇村内融和としての小学校運動会－一八九〇年から一九二〇年代長野県北信地域を中心として－（竹内久隆）、〇「長野師範学校男子部粛学事件」における処分の論理－特に「政治的中立」概念の戦前との「連続」に注目して－（長谷川鷹士） ②書評 〇布施賢治『「日本型」育英事業の思想　勝負と錬成の近代』（菅原亮芳） ③図書紹介 〇神奈川県立総合教育センター編『神奈川県教育史　1945～1972資料編」（上・下）』（米田俊彦）、〇愛知県教育委員会編『愛知県教育史』第六巻（内田純一） ④小特集 〇地域の教育史資料の収集・保存・活用（野口穂高） ⑤第四十六回大会報告 ⑥全国幹事による「地方の状況報告」② 第4回鳥取県教育史の編纂状況（白石崇人）、第5回大学アーカイブズの状況（小宮山道夫）	長野県・神奈川県・愛知県・鳥取県
46	2025	有	①研究論文 〇下等小学課程に「幼稚課」を設置した飾磨県の独自教育政策－「飾磨県下等小学課業表」の改正と学区再編政策との関係－（義根益美）、〇第一次大戦後の山口県における青年団の組織化と実業補習学校の普及－「戦後準備共励」を契機とした展開過程－（三羽光彦） ②史料紹介 〇地方新聞にみる「学徒隊」戦闘訓練に関する報道（須田将司） ③書評 〇髙田麻美『近代日本の教育博物館―モデル館と地域の関係史－』（白石崇人） ④小特集 〇地域産業の発展に果たした中等学校の役割（佐藤環） ⑤第四十七回大会報告 ⑥全国幹事による「地方の状況報告」③ 第6回福岡県における教育史研究及び史料の状況（木村政伸）、第7回岩瀬文庫と『新編西尾市史』編さん（杉浦由香里）	兵庫県・山口県・岡山県・京都府・鳥取県・東京都・大阪府・福岡県・・茨城県・青森県・愛知県
47	2026	有	①研究論文 〇「学制」初期の筑摩県における学校元資調達の展開－県の集金強化と学区（村）の「受容」と「拒否」－（上野拓海）、〇教育令改正と学務担任書記の設置（杉浦由香里）、〇国民学校における映画教育実践：新潟県関屋国民学校の事例（森田智幸）、〇一九五一年・五二年度における広島県西条中学校の課題－『本校の教育』にみる教育促進学校の教員組織と個性に即応した教育－（白石崇人）、〇一九五〇年代における「学生寮建設計画」の展開―「一県一団体」原則との調整に注目して－（遠藤健）、〇大阪府泉州における高等学校隔週定時制に関する研究（柏木敦） ②書評 〇荒井明夫『明治前期の国家と地域教育』（池田雅則）、〇丸山剛史・井上惠美子・釜田史・白石崇人・大谷奨・亀澤朋恵・内田徹『近代日本小学校教員検定制度史研究―地方における試験検定・無試験検定制度運用と受験の実際―』（長谷川鷹士）、〇斉藤利彦・森川輝紀・逸見勝亮・前田一男・須田将司『「戦時教育令」の研究―天皇制公教育の崩壊過程』（小野雅章） ③図書紹介 〇『宜野湾市史別冊　ぎのわん　教育のあゆみ』（近藤健一郎） ④小特集 〇長野県における学校資料保存の最前線（須田将司） ⑤第四十八回大会報告 ⑥各地の博物館・文書館の情報 〇教育に関する史資料の収蔵施設―茨城県立歴史館―（佐藤環）	長野県・全国・東京都・新潟県・広島県・愛知県・大阪府・山形県・長崎県・鹿児島県・山口県・鳥取県・秋田県・北海道・京都府・埼玉県・群馬県・静岡県・神奈川県・岩手県・富山県・沖縄県・茨城県

＊価格：1冊1,000円。送料込み。

＊注文：全国地方教育史学会事務局でメールにて承ります。